

第399回  
定期演奏会

# 広島交響楽団

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA  
“讀”平和を讀めて

指揮  
秋山和慶

Conductor  
Kazuyoshi Akiyama

ピアノ  
アンドレ・ラプラント

Piano  
André Laplante

©Peter Schaff

Hiroshima Symphony Orchestra The 399th Subscription Concert

イベール:祝典序曲  
Ibert: Ouverture de fête

〈ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ〉

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15  
Beethoven: Piano Concerto No.1 in C major Op.15

レスピーギ:交響詩「ローマの祭り」  
Respighi: Feste Romane

コンサートマスター: 佐久間 聡一  
Concertmaster: Soichi Sakuma

2020.4.26(日)

15:00開演 [14:00開場]

Sun Apr 26, 2020 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2020年2月26日(水)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン

広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場・ローソンチケット(Lコード:62762)

チケットぴあ(Pコード:174-994)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

プレミアム協賛/  広島電鉄

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、

広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL: 082-532-3080 HP: <http://hirokyo.or.jp>

広響公式ホームページ▶



  
beyond  
2020

2020年度定期演奏会の開幕を祝う豪華絢爛たるイベールとレスピーギに挟まれたベートーヴェンの初々しさと、ハ長調がもたらす神聖な響き。その見事なコントラストからなる心躍るプログラムを味わい尽くす。元来祝い事やお祭り事は平和を祈願するものである。今年のテーマである“讃”のスタートを切る、終身名誉指揮者・秋山和慶と広響定期再登場を果たしたアンドレ・ラプラント、両巨匠の業が冴え渡る。



## 〔指揮〕秋山和慶 Conductor / Kazuyosni Akiyama

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督を歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、スイス・ロマンダ管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年に紫綬褒章、2011年には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著ノアルテスパブリッシング刊)を出版した。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー(2020年4月より)、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



## 〔ピアノ〕アンドレ・ラプラント Piano / André Laplante

ロマン派音楽の偉大なヴィルトゥオーゾとして評価されているカナダ人ピアニスト。

ジュネーヴ・シドニー両コンクールで入賞後、1978年チャイコフスキー国際コンクールにて2位受賞。この時の演奏は評論家達の間で、アシュケナージやホロヴィッツ、ルドルフ・ゼルキンなどの往年の巨匠と比され、リスクを恐れぬヴィルトゥオーゾ達の一人として歴史的に名を刻むピアニストの仲間入りをすることとなった。

これまで欧米を中心に演奏活動を行い、サー・ネヴィル・マリナー指揮ミネソタ響、アンドリュウ・ディヴィス指揮トロント響、ユード・メニューイン指揮ロイヤル・フィル、モントリオール響、シカゴ響、チェコ・フィル、サンクトペテルブルグ響等と共演する他、カーネギーホールやケネディーセンターを含む北米の主要な舞台でも度々演奏している。2019年3月にはトロワ・リヴィエール交響楽団(カナダ)とベートーヴェンピアノ協奏曲全曲演奏会を行った。

録音も数多く、リスト(1995年・2010年Felix賞)、ブラームス(1996年Felix賞)、ラヴェル、ラフマニノフ、ショパンのソロ作品をアナレクタ・レーベルより発表。

ケベック州音楽評議会より、年間を通して最も優れた公演や演奏家にのみ贈られる名誉あるオーパス賞を複数に渡って受賞し(1999年、2006年、2010年)、2005年にはイギリス連邦からカナダ勲章・オフィサーを授与された。

チャイコフスキー、ホーネン、ウィリアム・カペル各国際ピアノコンクール他、国際コンクールの審査員としても度々招かれている。指導者としても活躍し、2015年ショパン国際ピアノコンクールで2位を受賞したシャルル・リシャル＝アムランを育てたことでも知られている。

### 次回演奏会

## 2020.5.24日 第400回定期演奏会

広島文化学園HBGホール 15:00開演 [14:00開場]

### 第400回記念ガラ

三善 晃:祝典序曲(下野 指揮)

モーツァルト:ディヴェルティメント ヘ長調K.138(秋山 指揮)

ベートーヴェン:合唱幻想曲ハ短調作品80(アルミンク 指揮)

R.シュトラウス:楽劇「サロメ」〜7つのヴェールの踊り TrV215a(アルミンク 指揮)

R.シュトラウス:歌劇「カプリッチョ」 TrV279〜前奏曲、月光の音楽(下野 指揮)

R.シュトラウス:歌劇「ばらの騎士」組曲 TrV227d(秋山 指揮)

1963年の創立以来57年間かけて回数を積み上げた定期演奏会もついに「第400回」を迎える。しかも広響3指揮者によるガラコンサートとは前代未聞!ファンならずとも聴く価値あり。祝典序曲のリレーでアンカーをつとめるのは下野竜也。三善晃、幻の意欲作だ。続いて秋山指揮のモーツァルトにベートーヴェンの生誕250周年を讃えるアルミンク指揮、横山幸雄ピアノの合唱幻想曲。後半はR.シュトラウスの管弦楽3作をそれぞれの指揮者が振り分ける。巧妙にしてユニークな下野の司会も聞きどころの一つ。



指揮/下野竜也



指揮/秋山和慶



指揮/クリスティアン・アルミンク



ピアノ/横山幸雄

合唱:エリザベト音楽大学合唱団、ひろしまオペラルネッサンス合唱団